

環境経営レポート

令和 6 年度

北清ホールディングス株式会社

目 次

1. 事業所名及び代表者氏名	1
2. 所在地	1
3. 環境管理責任者氏名及び担当者連絡先	1
4. 事業内容の概要	1
5. 実施体制	1
6. 事業の規模	1
7. 環境経営レポートの対象期間と発行日	1
8. 環境経営方針	1
9. 環境経営目標と計画および実績	2
10. 環境経営の取組結果の評価・次年度の取組内容	6
11. 環境関連法規等の遵守状況の確認および違反・訴訟等の有無	7
12. 代表者による全体評価と見直しの結果	7

1. 事業所名及び代表者氏名

北清ホールディングス株式会社 代表取締役社長 川井 千香子

2. 所在地（認証範囲における事業所名とその住所）

札幌市東区北丘珠 5 条 4 丁目 732 番地 51

3. 環境管理責任者氏名及び担当者連絡先

（環境管理責任者） 総務次長 工藤 一步

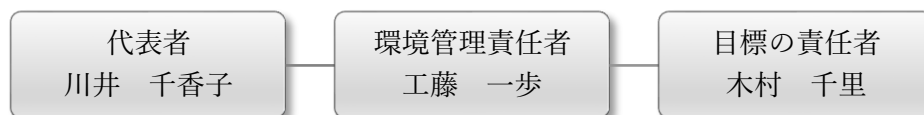
（住所） 札幌市東区北丘珠 5 条 4 丁目 732 番地 51

（TEL） 011-788-1055 （FAX） 011-788-1056 （E-mail） k-kudo@kk-hokusei.jp

4. 事業内容の概要（認証範囲における業務範囲）

- ① 北清グループの管理業務全般及び環境コンサルタント
- ② 環境関連商品の仕入販売

5. 実施体制



6. 事業の規模（主要製品の生産量・出荷額、従業員数、事業所の延べ床面積等）

活動規模	令和 6 年 9 月期	単位
売上高	466	百万円
従業員数	5	人
床面積	341.39	m ²

7. 環境経営レポートの対象期間と発行日

（対象期間） 令和 5 年 9 月 1 日～令和 6 年 8 月 31 日

（発行日） 令和 6 年 11 月 1 日

8. 環境経営方針

〈基本理念〉

北清ホールディングス株式会社は、北清グループ管理業務に関連する事業活動を通じて、地球環境の保全が重要課題であることを認識し、豊かな自然を次世代に引き継ぐために、環境経営方針を定めて環境保全活動に取り組めます。

〈行動指針〉

- (1) エコアクション 21 に基づいた環境マネジメントシステムの効果的な運用と継続的な改善を図ります。
- (2) 環境に関連する法規制及びその他の要求事項を遵守します。
- (3) 環境への負荷を低減するために、特に以下の項目を推進します。
 - ① 省エネルギー、省資源
 - ② 廃棄物の排出抑制と適正処理
 - ③ 温室効果ガスの排出抑制
- (4) 環境経営方針を積極的に開示し、地域社会とのコミュニケーションを図ります。

令和 5 年 11 月 27 日

北清ホールディングス株式会社

代表取締役 川井 千香子

9. 環境経営目標と計画および実績

(1) 今年度の環境経営目標と計画および実績

環境経営目標①<グループ会社への業務サポート>	
計画	各社の業務がより円滑になるようサポート業務を行う（環境関連設備導入、環境関連法規制対応のサポート、環境関連の課題解決など）。
実績	毎月開催している社長会において、環境保全・環境関連の課題解決や収益性の観点から、投資案件の整合性を分析し、以下の通り投資判断を行った。 【決議した設備導入】 ・管理型処分場施設新設（鹿児島県始良郡湧水町）／九州北清(株) (着工予定：令和 7 年 1 月) 埋立面積 32,700 m²、埋立容量 416,000 m³（嵩上げ時：657,000 m³）で、110 m³／日の処理能力を有する管理型最終処分場。建設地となる鹿児島県は元より、九州地域で発生する産業廃棄物を受け入れ、地域の環境維持に貢献するもの。また、本施設運営に必要な人員の地元採用、産業廃棄物の処理施設が整うことによる大手企業の進出などによる雇用創出にも貢献する。令和 7 年 1 月着工予定、令和 10 年 1 月からの稼働を目指す。 ・RPF 製造施設整備（札幌市）／北清企業(株) (令和 6 年 3 月着工済み、令和 6 年 10 月稼働開始) 廃プラスチック類や木くず・紙くず・繊維くずなどから固形燃料（RPF）を製造する設備を、既存設備の老朽化に伴い新設。16.6t／日の処理能力を有し、年間 2,000t の再生利用を目指す。

・第2期安定型・管理型最終処分場（江差町）／北清えさし(株) （令和7年3月着工予定） 渡島・桧山管内から排出される産業廃棄物を受け入れする。埋立面積 18,183 m²、全体容積 150,880 m³、処理能力 110 m³／日を有し、地域社会の生活環境の保全と公衆衛生の向上に貢献していく。 上記の投資判断の他、グループ各社の資金需資に対し、CMS を活用して資金調達をサポート。円滑な投資活動に貢献した。 【CMS を活用した長期貸付】 ・江別清掃(株)：社屋改装費用 ・北海道特殊自販(株)：車両購入費用 ・北清企業(株)：既存借入肩代わり資金、RPF 施設つなぎ資金 ・北清商事(株)：車両購入費用 その他、グループ会社における急な欠員（事務員）に対し、当社から人員を派遣。グループ会社の管理業務を滞らせることなく、円滑な業務運営をサポートすることができた。 【人員派遣先】 ・江別清掃(株)：1 名 ・北日本総業(株)：1 名	
環境経営目標②＜ゴミの削減＞	
計画	ゴミ袋の分別管理を徹底することによって、資源物の分別意識を高め、排出量を削減する。前年実績 40ℓ 袋 41 枚 1,640ℓ の数値を維持する。
実績	年度内 40ℓ ゴミ袋 41 枚の目標に対して 40 枚の実績で目標達成。全社員が分別を徹底し、ゴミ削減の意識を高く持って取り組むことができた。引き続き、意識を高く持って取り組んでいく。
環境経営目標③＜グリーン購入率 100%＞	
計画	事務用品は全てエコラベル付きを購入する。
実績	事務用品は全てエコラベル付を購入した。また、名刺は全社員 FSC 紙を使用した。

(2) 目標化しないが努力する事項

環境経営努力目標①＜水道使用量、電気使用量および灯油使用量の削減＞	
計画	ステッカーの貼り付けや節電・節水などのコメントを表示するなどして、各自が意識改革に努める。
実績	事務所内の点灯スイッチ周辺にステッカーを貼り、各自が環境を意識して節電を励行。昼休み等の事務所や廊下の随時消灯を実施。灯油に関しては、暖房を 25℃に設定。タイマーを使用し、社員不在時の消火も徹底した。
環境経営努力目標②＜ガソリンの使用実績管理＞	
計画	車両運転時は急発進・空ふかしの抑制、無駄なアイドリングのストップなどエコドライブを心掛ける。
実績	車両運転に関してはエコドライブを徹底した。ガソリン使用量から算出した CO ₂ 排出量：5940.80kg-CO ₂ （対前年比△1107.34kg-CO ₂ ）

※水道使用量、電気使用量および灯油使用量は共益金として費用負担しており、データが把握できないため、努力目標としている。

※化学物質に関しては取り扱いがないため、目標設定していない。

(3) 中期環境経営目標（令和 5 年度～令和 7 年度）

R5 年度	中期環境経営目標①＜グループ会社への業務サポート＞	
	計画	各社の業務がより円滑になるようサポート業務を行う（環境関連設備導入、環境関連法規制対応のサポート、環境関連の課題解決など）。
	中期環境経営目標②＜ゴミの削減＞	
	計画	ゴミ袋の分別管理を徹底することによって資源物の分別意識を高め排出量を削減する。前年実績 40ℓ 袋 41 枚 1,640ℓ の数値を維持する。
	中期環境経営目標③＜グリーン購入率 100%＞	
	計画	事務用品は全てエコラベル付きを購入する。

R6 年度	中期環境経営目標①＜グループ会社への業務サポート＞	
	計画	各社の業務がより円滑になるようサポート業務を行う（環境関連設備導入、環境関連法規制対応のサポート、環境関連の課題解決など）。
	中期環境経営目標②＜ゴミの削減＞	
	計画	ゴミ袋の分別管理を徹底することによって資源物の分別意識を高め排出量を削減する。前年実績 40ℓ 袋 41 枚 1,640ℓ の数値を維持する。
	中期環境経営目標③＜グリーン購入率 100%＞	
	計画	事務用品は全てエコラベル付きを購入する。

R7 年 度	中期環境経営目標①<グループ会社への業務サポート>	
	計画	各社の業務がより円滑になるようサポート業務を行う（環境関連設備導入、環境関連法規制対応のサポート、環境関連の課題解決など）。
	中期環境経営目標②<ゴミの削減>	
	計画	ゴミ袋の分別管理を徹底することによって資源物の分別意識を高め排出量を削減する。前年実績 40ℓ 袋 40 枚 1,600ℓ の数値を維持する。
	中期環境経営目標③<グリーン購入率 100%>	
	計画	事務用品は全てエコラベル付きを購入する。

(4) 環境経営目標には設定していないが守るべきと決めた行動内容

① 省エネ

- ・ 暖房は設定温度 25℃を目安とする。使用していない会議室等は暖房をとめる。
- ・ 冷房は設定温度 26℃を目安とする。使用していない会議室等は冷房をとめる。
- ・ 使用していない会議室、トイレ、廊下の照明は OFF にする。
- ・ 複合機、パソコンは待機・省エネモードに設定する。
- ・ 長時間、席を離れる場合はパソコンを OFF する。
- ・ 車両使用時はエコドライブを心掛ける。
- ・ 駐停車時のアイドリングストップ、急発進・空ふかしの抑制、タイヤの空気圧の適正化を始めとする点検・整備の励行など。道路運送車両の保安基準に基づき車検を受けること。
- ・ ステッカーの貼り付けや節電・節水などのコメントを表示するなどして意識改革に努める。

② 省資源

- ・ ミスコピー、ミスプリント等の用紙は裏面をメモ等に利用する。
- ・ 両面コピー、両面プリントが許容されるものは両面を使用する。
- ・ 新聞、雑誌等はリサイクル業者に委託する。
- ・ 機密文書は専門リサイクルシュレッダー業者に委託、あるいはシュレッダー機で自ら処理した後、リサイクル業者に回収依頼する。
- ・ 廃棄物は分別し、リサイクルを優先し、焼却処分や埋立て処分を極力避ける。
- ・ トイレ等の水の使用は無駄にしないよう節水に努める。
- ・ 社内の回付資料や会議資料などは極力電子データで共有し、ペーパーレス化を進める。

10. 環境経営の取組結果の評価・次年度の取組内容

(1) 環境経営目標を達成するための行動内容の評価と次年度の取組

① グループ会社への業務サポート

毎月開催している社長会において、環境保全・環境関連の課題解決や収益性の観点から、投資案件の整合性を分析し、以下の通り投資判断を行った。

【決議した設備導入】

・管理型処分場施設新設（鹿児島県始良郡湧水町）／九州北清(株)

（着工予定：令和 7 年 1 月）

令和 7 年 1 月着工予定、令和 10 年 1 月からの稼働を目指す。次年度も継続する。

・RPF 製造施設整備（札幌市）／北清企業(株)

（令和 6 年 3 月着工済み、令和 6 年 10 月稼働開始）

予定通り稼働開始。次年度も継続して運用する。

・第 2 期安定型・管理型最終処分場（江差町）／北清えさし(株)

（令和 7 年 3 月着工予定）

継続して処分場の建設を進める。

上記の投資判断の他、グループ各社の資金需資に対し、CMS を活用して以下の資金調達をサポート。円滑な投資活動に貢献した。

【CMS を活用した長期貸付】

・江別清掃(株)：社屋改装費用

・北海道特殊自販(株)：車両購入費用

・北清企業(株)：既存借入肩代わり資金、RPF 施設つなぎ資金

・北清商事(株)：車両購入費用

その他、グループ会社における急な欠員（事務員）に対し、以下の当社から人員を派遣。グループ会社の管理業務を滞らせることなく、円滑な業務運営をサポートすることができた。

【人員派遣先】

・江別清掃(株)：1 名

・北日本総業(株)：1 名

次年度以降も引き続き環境保全・環境関連の課題解決や収益性の観点から整合性のある投資判断、CMS を活用した資金繰りの支援、グループ会社のバックアップ体制の強化および人材育成を行っていく。

② ゴミの削減

年度内 40ℓ ゴミ袋 41 枚の目標に対して 40 枚の実績で目標達成。全社員が分別を徹底し、ゴミ削減の意識を高く持って取り組むことができた。引き続き、意識を高く持って取り組んでいく。

③ グリーン購入

事務用品は全てエコラベル付のものを 100%購入することができた。次年度も継続して実施する。

- (2) 環境経営目標には設定していないが守るべきと決めた行動内容の評価と次年度の取組
省エネ、省資源への取組の記載事項については、各自が意識して無駄のない行動に努めており、今後も継続して実施する。

11. 環境関連法規等の遵守状況の確認および評価の結果並びに違反・訴訟等の有無

認証登録後も環境関連法規等の違反も関係当局からの指摘、訴訟等なし。

法令等の名称	遵守状況
廃棄物の処理及び清掃に関する法律	○
札幌市廃棄物の減量及び処理に関する条例	○
道路運送車両の保安基準	○
家電リサイクル法（特定家庭用機器再商品化法）	○

12. 代表者による全体評価と見直しの結果

【全体評価】

エコアクション 21 の取組の成果を継続するためにシステム全体の現状を維持してもらいたい。また、より環境や合理性を意識した投資をするため、グループの管理統括会社としてイニシアティブを発揮してもらいたい。

【見直しの結果】

環境経営方針の改定なし。

環境経営目標の変更なし。

環境経営計画の変更なし。

環境経営システムの変更なし。